

## ヤマモリ(タイランド)が海外のしょうゆ工場として 初のJAS工場認定

2017年8月25日、ヤマモリ株式会社(本社:三重県桑名市 / 代表取締役社長 三林 憲忠)が2014年にタイ王国において設立したしょうゆ製造工場ヤマモリ(タイランド)Yamamori(Thailand)co.,Ltd.が、海外のしょうゆ工場として初のJAS工場の認定を受けました。

### ■ JAS(日本農林規格)とは

JAS法(農林物資の規格化等に関する法律、1950年制定)に基づき、決められた規格を満たしている事を確認(格付けといいます)された製品にJASマークを付けることができる制度をJAS規格制度と言います。

JASマークが付いている製品は、一定の品質や特色を持っていますので、消費者が買い物で商品を選んだり、事業者間で取引する際に、JASマークが付いている事を目印にすれば便利です。

### ■ 2017年6月に改正されたJAS法

農林水産省は、食文化や商慣行が異なる海外市場において、その産品・取組に馴染みの無い取引相手に対して、日本産品の品質や特色、事業者の取組などの「強み」を訴求しやすくするため、2017年6月にJAS法を一部改正し、JAS規格の国際化の推進を図りました。

従来のJAS規格の対象はモノ(農林水産物・食品)の品質に限定されていましたが、今回の改正により、モノの「生産方法」(プロセス)、「取扱方法」(サービス等)、「試験方法」などにも拡大されました。

### ■ 海外のしょうゆ工場として初のJAS工場認定

日本国内においては515のしょうゆ工場がJAS認定を受けています。海外でしょうゆを生産している企業は6企業、12工場でしたが、JAS認定を取得した工場は今までにはありませんでした。

### ■ ヤマモリ(タイランド) Yamamori(Thailand)co.,Ltd.

ヤマモリ株式会社 社長三林憲忠は、タイ王国でのしょうゆを使った日本食の普及と日本国内におけるタイ料理の普及を通じて、「しょうゆの文化をタイへ、タイの食文化を日本へ」をキャッチフレーズに掲げ、タイと日本の架け橋となるべく、さまざまな取組を行ってきました。

その一環として、タイ王国において1997年から本格的な日本しょうゆの生産を開始し、現地および周辺のアセアン諸国でのシェア拡大に伴い、2014年に今回JAS認定工場となったYamamori(Thailand)co.,Ltd.を設立しました。現在は6,500klのしょうゆを生産していますが、今後は10,000klの生産を目指しています。

同工場は、FSSC22000、GMP/HACCPの認証を2016年に、ハラールの認証を2017年に取得しています。

## ■今後

同工場では今後、こいくちしょうゆ、うすくちしょうゆ、さいしこみしょうゆの3品種について、JAS格付け検査を行い、合格したものに特級JASマークを付けて販売することとなります。

特級JASマークの付いた商品は、タイ王国を中心に、海外駐在の日本人、日本食レストラン、日系企業及びタイ現地企業の食品加工工場向けに出荷いたします。

また、同工場がJAS認定を受けたことで、ハラル認証のJAS規格しょうゆを製造することができるようになったとともに、しょうゆ業界としてもジャパン・クオリティ、日本品質を世界に発信する推進力になれたと考えております。

## ■ Yamamori(Thailand)co.,Ltd. 全景



## ■ 会社概要

社名:	ヤマモリ株式会社	資本金:	4億3500万円
ホームページ:	<a href="http://www.yamamori.co.jp/">http://www.yamamori.co.jp/</a>	従業員:	450名
本社:	三重県桑名市陽だまりの丘6-103	事業内容:	醤油・つゆ・たれ・レトルトパウチ食品・ 調理缶詰・飲料等の製造販売
代表者:	代表取締役社長 三林 憲忠		
創業:	1889年		
設立:	1951年		

### <この件に関するお問い合わせ先>

ヤマモリ株式会社 社長室

Phone: 090-7610-2515 / Fax: 0594-33-4076

担当 / 上野毛戸[h\_uenomoto@yamamori.co.jp]

<http://www.yamamori.co.jp/>